

工学研究科

人材養成および教育研究上の目的		
<p>工学研究科は、高度な専門知識の実践的活用により科学技術分野の発展に寄与すると教育理念の下に人材育成を行う。修士課程・博士課程前期では、急速な深化と拡大を続けている先端工学の分野で、高度な技術の開発・研究に携わり、社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。博士課程後期では、修士課程・博士課程前期の6専攻を2専攻に集約し、さらに時代の要請にタイムリーに対応できるよう、社会科学、自然科学と工学の分野連携による学際プログラムを設置して、今日の社会が抱える技術的な諸問題に対し、専門的かつ先駆的考究を加え、新たな解決法を創造する。また、各分野の学会等を通じて新たな学術的知見を提供することによってグローバルな社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。</p>		

三つの方針（三つのポリシー）		
学位授与方針 （ディプロマ・ポリシー）	教育課程の編成・実施方針 （カリキュラム・ポリシー）	学生の受け入れ方針 （アドミッション・ポリシー）
＜博士課程前期＞		
<p>工学研究科は、人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に、修士（工学）または修士（学術）の学位を授与する。</p>		
<p>知識・理解</p> <p>【学修成果の目標】 専門分野に関する知識を習得し、その役割を理解出来る。(DP1)</p> <p>【到達指標】 専門分野に関する知識や役割を説明出来る。(DP1)</p>	<p>【教育課程の編成】 専修部門の主要科目とそれ以外の特修科目（共通科目）から編成される。(DP1)</p> <p>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】 比較的少人数に対しての集中教育を実施する。(DP1)</p> <p>【学修成果の評価方法】 単位取得状況により評価する。(DP1)</p>	<p>【求める学生像】 企業等で研究・開発に携わる目標を持っている人、あるいは大学等の研究者を志向する人を対象とする。</p>
<p>技能</p> <p>【学修成果の目標】 研究者・技術者として不可欠なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身につける。(DP2)</p> <p>【到達指標】 他者と意見交換出来る。(DP2)</p>	<p>【教育課程の編成】 専修部門の主要科目には、学生の指導教員による科目が用意されている。(DP2)</p> <p>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】 教師との密な接触による全人的教育を実施する。(DP2)</p> <p>【学修成果の評価方法】 修士論文（修士設計を含む）の内容で評価する。(DP2)</p>	<p>【入学者選抜の在り方】 一般、推薦、社会人、外国人留学生入試があり、秋季と春期の年2回実施される。一般入試では筆記試験と面接により基礎学力と意欲を確認し、選抜される。推薦入試では、基礎学力を認められる福岡大学工学部の成績優秀者に対して、面接により意欲を確認する。社会人入試では、書類審査、小論文、面接により基礎学力と意欲を確認し、選抜される。外国人留学生入試では、筆記試験と面接により基礎学力と意欲を、語学検定試験のスコアにより日本語および英語のコミュニケーション能力を、それぞれ確認し、選抜される。</p>
<p>態度・志向性</p> <p>【学修成果の目標】 研究に取り組む意欲を持っている。(DP3)</p> <p>【到達指標】 意欲的に研究に取り組んでいる。(DP3)</p>	<p>【教育課程の編成】 主要科目には特別研究が用意されている。(DP3)</p> <p>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】 比較的少人数に対しての集中教育と、教師との密な接触による全人的教育とを実施する。(DP3)</p> <p>【学修成果の評価方法】 修士論文（修士設計を含む）の内容で評価する。(DP3)</p>	
＜博士課程後期＞		
<p>工学研究科は、人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に、博士（工学）または博士（学術）の学位を授与する。</p>		
<p>知識・理解</p> <p>【学修成果の目標】 高度な専門的業務に従事するための豊かな学識を有する。(DP1)</p> <p>【到達指標】 専門分野における動向の把握と研究の位置付けが出来る広い視野と思考力を有する。(DP1)</p>	<p>【教育課程の編成】 専門分野の研究指導科目と関連分野の特修科目から編成される。(DP1)</p> <p>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】 主・副指導教員により、一人一人にきめ細かい指導と助言を行う。(DP1)</p> <p>【学修成果の評価方法】 単位修得状況により評価する。(DP1)</p>	<p>【求める学生像】 専門分野に関心を持ち、主体的な研究活動に意欲を持つ人を対象とする。</p>
<p>技能</p> <p>【学修成果の目標】 高度な専門的業務に従事するために必要な高度な研究能力を有する。(DP2)</p> <p>【到達指標】 自立的に問題を解決し、成果を論文として作成する能力を有する。(DP2)</p>	<p>【教育課程の編成】 専門分野の研究指導科目と関連分野の特修科目から編成される。(DP2)</p> <p>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】 主指導教員の少人数指導と副指導教員の助言のもとで、研究の遂行に必要な技術と技能を修得させる。(DP2)</p> <p>【学修成果の評価方法】 学位論文の審査により評価する。(DP2)</p>	<p>【入学者選抜の在り方】 一般、社会人、外国人留学生入試があり、秋季と春期の年2回実施される。英語、小論文、専門試験、口頭試問を実施して研究歴や研究計画を確認し、将来性のある有望な人材が選抜される。</p>
<p>態度・志向性</p> <p>【学修成果の目標】 国際的な視野をもって、自立的に問題の解決に取り組む姿勢を有する。(DP3)</p> <p>【到達指標】 学位論文の審査に合格する。(DP3)</p>	<p>【教育課程の編成】 専門分野の研究指導科目で編成される。(DP3)</p> <p>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】 主指導教員の少人数指導と副指導教員の助言のもとで、研究への態度と指向性を身につけさせる。(DP3)</p> <p>【学修成果の評価方法】 学位論文の審査により評価する。(DP3)</p>	